

「ベターライフ」を基軸に 持続可能な社会の実現に貢献。

ITの発展は、社会システムに劇的な変化をもたらしました。そして、今、新型コロナウイルスは、私たち一人ひとりの価値観にまで大きな影響を及ぼしています。しかし、一方で社会の血流に例えられる物流は、途切れることなく機能することが求められています。私たちは、主要な社会インフラである物流に関わるトラックメーカーとしての自覚をもつと同時に、それを持続可能なものとして発展させていく責任があります。すべてがつながる今の時代にあっては、業界や国を越えた世界的な視野が必要です。

今般、UDトラックスは、「ベターライフ」という考え方を私たちの存在意義として定義しました。「ベターライフ」——人と地球のより良い暮らしのために努力することが、社会における私たちの役割であり、持続可能な社会の実現につながると確信しています。

この大望を現実のものとするためにUDトラックスは、2025年をゴールとした新経営戦略を策定しました。環境負荷を低減し、お客さま満足の向上に努め、働きがいのある職場を創ること、そしてその結果として利益率を

改善することを目標に掲げました。また、SDGsへの取り組みも加速させます。(詳しくはP3をご参照ください)

今後、社会の変化のスピードはさらに速まり、未知の領域へと進んでいくことでしょう。しかし、UDトラックスは常に「ベターライフ」という方向を見据え、ステークホルダーの皆様と協働し、課題解決のためにチャレンジを続けてまいります。今後とも一層のご支援をお願い申し上げます。



代表取締役社長

酒巻 孝光